



企画展

# 濠

をめぐらした  
弥生時代の  
暮らしの  
ムラ

2023.11.3 Fri  
|  
2024.1.21 Sun



鈴鹿市考古博物館

Suzuka Municipal Museum of Archaeology

平成 30 年度に実施した大下遺跡の発掘調査で、弥生時代末～古墳時代初頭の濠が見つかり、濠の底から木製の樋を使った暗渠が設置されたままの状態で見つけられました。この濠は集落を囲い込む環濠の可能性が考えられ、環濠にたまった水を排水するための設備は全国初の発見であり、また、年代測定の結果、日本最古級の事例であることが明らかとなりました。

「この暗渠は何のために設置されたのでしょうか？」

排水のためだけであれば溝を掘るだけで十分なところ、丁寧な加工が施された木樋を使ったのは、祭祀など特別な目的があったのではないかと考えました。しかし、濠の底の土壌を分析した結果、濠の中の水は、清浄な水ではなく、日常生活から出た汚水であることがわかりました。

全国初の発見、日本最古級である大下遺跡の木樋の役割について考えるため、弥生時代の「濠」に着目して、これまでに鈴鹿市内で見つかった濠を集成し、形状や遺物の出土状況などの比較から濠の役割について考えます。

◎主な展示資料 木樋、弥生土器、石器、土製品、鉄製品 ほか

◎主な遺跡 大下遺跡（稲生町）、一反通遺跡（上田町）、扇広遺跡（高岡町）、森ヶ坪遺跡（御園町・越知町）、上箕田遺跡（上箕田一丁目・二丁目）、須賀遺跡（須賀一丁目・矢橋三丁目）、南山遺跡（河田町）、天王遺跡（岸岡町）、十宮古里遺跡（十宮四丁目）、磐城山遺跡（木田町）、南谷遺跡（稲生町）、八重垣神社遺跡（十宮町） ほか

◎所蔵／保管 鈴鹿市考古博物館、三重県埋蔵文化財センター



**開館時間** 9時～17時（入館は16時30分まで）  
**休館日** 毎週月曜日、第3火曜日（祝休日の場合は開館）  
 祝休日の翌日（土・日・祝休日の場合は開館）  
 年末年始（12月27日～1月4日）

**観覧料（常設展と共通）**

学生・一般 200円 / 小・中学生 100円

※団体（20名以上）の場合は50円引き

※障がい者の手帳等をお持ちの方とその付添の方1名、70歳以上、未就学児は無料



考古博物館 HP



**鈴鹿市考古博物館**  
 Suzuka Municipal Museum of Archaeology

〒513-0013 鈴鹿市国分町 224

TEL 059-374-1994 FAX 059-374-0986

写真表面①扇広遺跡 ②十宮古里遺跡 ③南谷遺跡※  
 ④磐城山遺跡 ⑤八重書神社遺跡 ⑥赤郷遺跡  
 ⑦南山遺跡 ⑧大下遺跡 ⑨須賀遺跡  
 ⑩一反通遺跡 ⑪天王遺跡 ⑫森ヶ坪遺跡※  
 裏面⑬天王遺跡 ⑭大下遺跡 木樋

※三重県埋蔵文化財センター 提供